

# 女性経営者等に対するアンケート調査結果

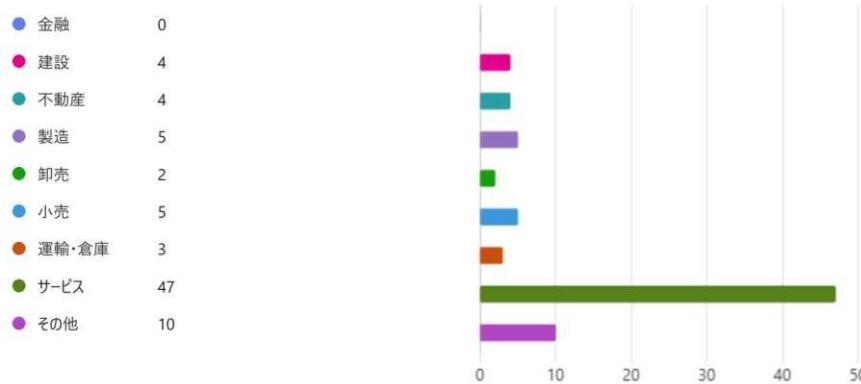
アンケート調査期間：2025年8月5日～8月28日

調査対象：サイタマ・レディース経営者クラブ及び一般社団法人埼玉県中小企業家同友会

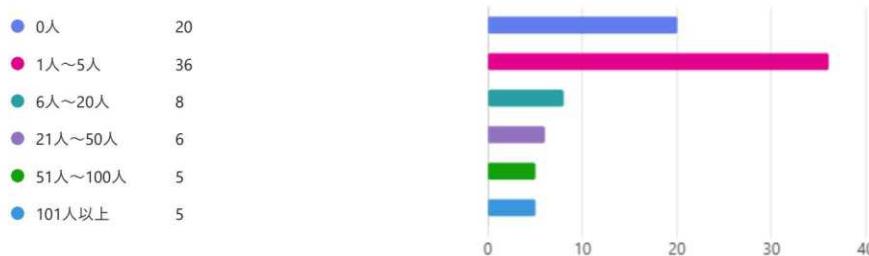
女性クラブ・ファム並びに一般社団法人埼玉ニュービジネス協議会に在籍する女性経営者等309名

回答者数：80名

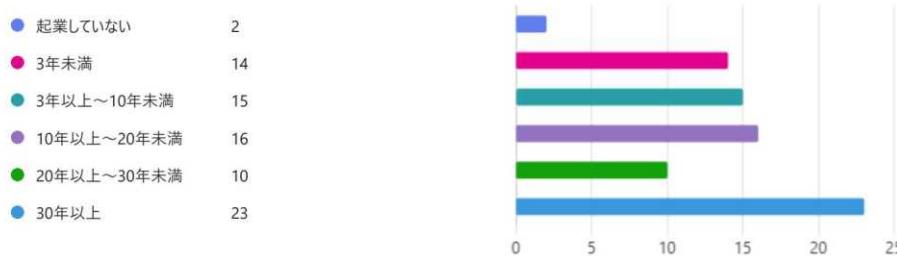
1. あなたの事業の業種を教えてください。



2. あなたの事業の従業員数を教えてください。



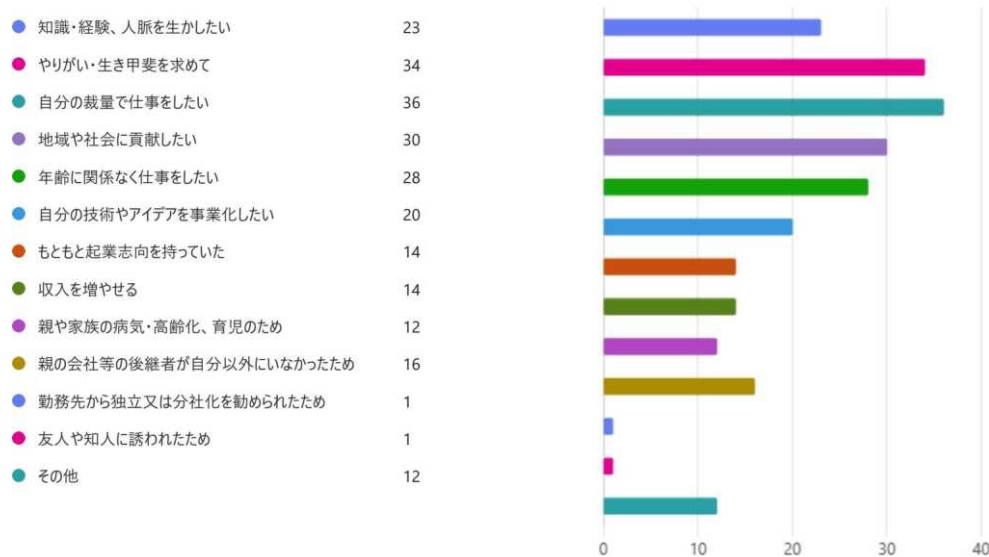
3. あなたの事業の年数を教えてください。



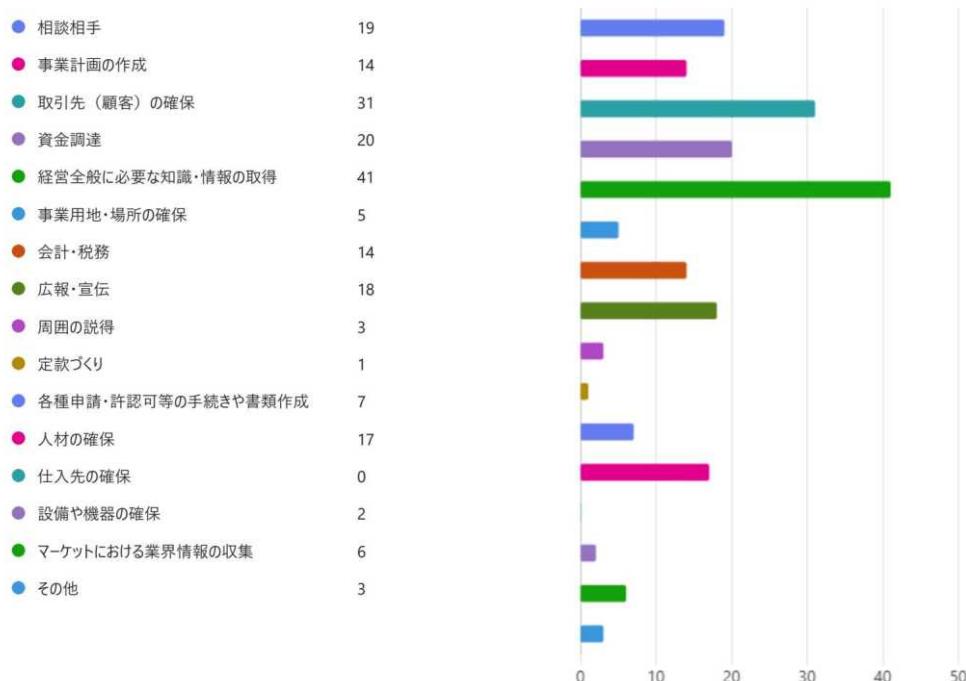
4. あなたが起業（又は事業承継）した年齢を教えてください。



5. あなたが起業（又は事業承継）した動機やきっかけを教えてください。※複数回答可



6. あなたが起業（又は事業承継）した際に特に苦労したこと 3つを選択してください。



7. 起業に際して、民間、公共などの起業支援の制度や仕組みを利用しましたか。また、利用した場合、その機関と支援の内容を教えてください。

51

応答

最新の回答

...

8回答者 (16%) この質問に 埼玉回答しました。

中小企業診断士  
スケジュール  
監査役  
企業講座  
確認  
商工会 埼玉  
経営  
女性  
ろづ支援拠点  
制度  
PR 神奈川県戸塚  
産業  
社  
経営  
女性  
ろづ相談所  
起業支援  
れあいキューブ春日部  
環境  
社  
年前  
起業支援  
れあいキューブ春日部

8. 女性の起業家を増やすためには、どのような支援が必要だと考えますか。

54

応答

最新の回答

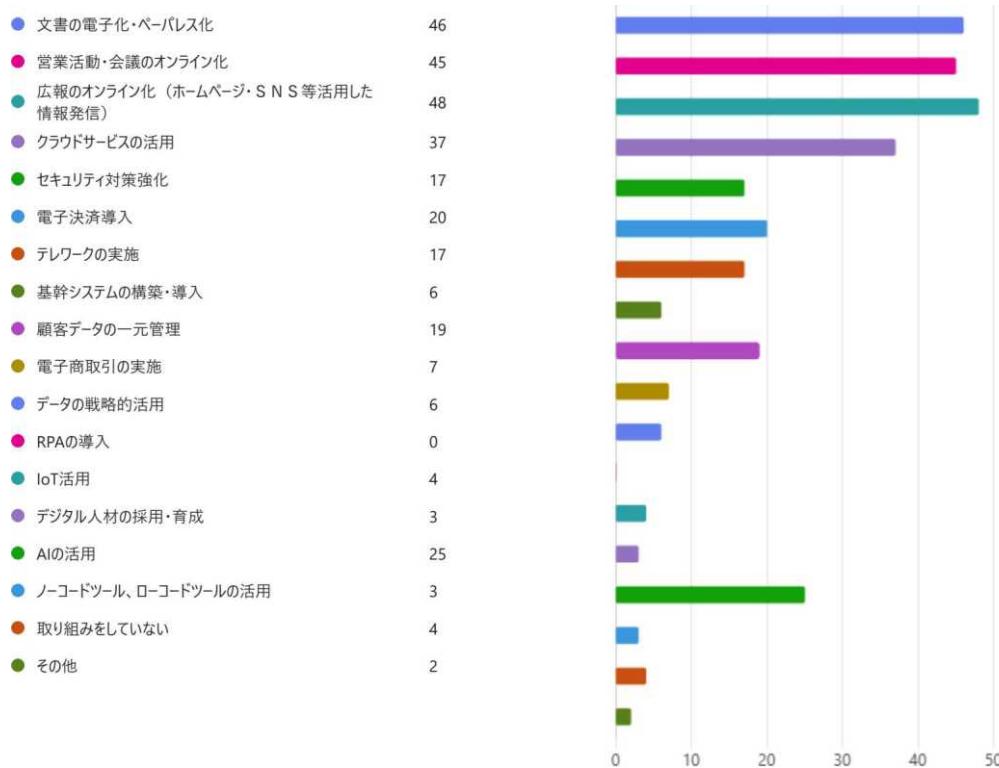
"社会におけるセクハラを始めとする女性へのハラスメント防止への意識づけへの支援。雇用さ..."

...

16回答者 (30%) この質問に 女性回答しました。

専門家  
資金  
理解  
社会  
場合  
初  
両立  
経営  
家庭  
サービス  
女性  
起業  
補助金  
場所  
保育園  
子育て  
知識  
仕事  
男性  
中小企業

9. あなたの会社の、DXの取り組み内容を教えてください。※複数回答可



10. DXへの取り組みを開始されたのはいつ頃でしょうか。



11. DX化の取り組みによる成果の状況を教えてください。



12. 取組による具体的な成果を教えてください。（例：従業員の残業が70%近く減った。）

46

応答

最新の回答

"オンラインミーティングは、往復の移動がないために、隙間時間でも（カメラを通して）はあるが..."

9回答者 (20%) この質問に 時間回答しました。



13. DXの取組において、課題やデメリットがあれば教えてください。

45

応答

最新の回答

"①クラウドについては、災害時にクラウドにアクセスできなくなると作業が停滞する。②オンライン..."

3回答者 (7%) この質問に コスト回答しました。



14. あなたの会社で今後実施する予定のDX取り組み内容を教えてください。※複数回答可



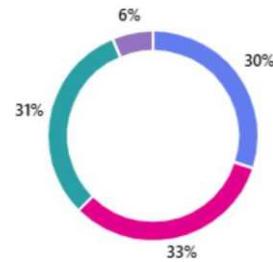
15. 埼玉県では、中小企業のDX化を支援するため、以下の事業を行っています。

利用した又は利用する予定のものに全てチェックしてください。(複数回答可)



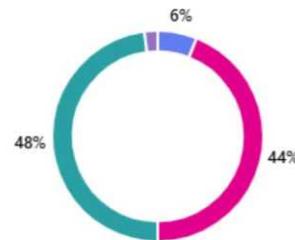
16. 生成AIの活用状況を教えてください。

- 積極的に活用している 24
- 用途を限定して活用している 26
- 活用していないが、活用を検討している 25
- 今後活用する予定はない 5



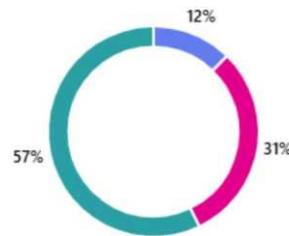
17. 生成AIの活用ルール等をまとめた社内ガイドライン策定状況を教えてください。

- 社内ガイドラインを策定している 3
- 社内ガイドラインの策定を検討している 22
- 社内ガイドラインを策定する予定はない 24
- その他 1



18. 生成AIツールの契約状況を教えてください。

- 法人向けの有料プランを契約している 6
- 一般向けの有料プランを契約している 15
- 無料プランを活用している 28



19. 生成AIの具体的な活用方法を教えてください。（例：売上データの分析、資料作成）

35

応答

最新の回答

...

6回答者 (17%) この質問に 文章回答しました。

セミナーシナリオ作成  
文書作成  
事業計画  
資料作成程度  
顧客  
情報提供検索

詳細 疑問 メール  
広報PR文  
各業種 日々 活用  
テスト段階  
回答 セミナー資料たたき台作成

20. DXやAIに関して、推進・活用するための課題や必要とする支援をお聞かせください。(自由記述)

38

応答

最新の回答

...

4回答者 (11%) この質問に 補助回答しました。

取り組み  
補助  
業務  
セキュリティ  
必要な  
間違い  
例えば生成AI

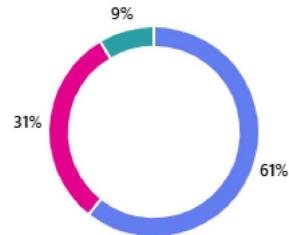
社員  
セミナー  
機関  
企業  
自社  
警察

基本知識  
課題  
情報  
付加価値向上  
資金  
意識  
サービス

21. あなたはどこに所属していますか。(複数回答可)

選択後、最後に送信ボタンを押してください。

- サイタマ・レディース経営者クラブ 57
- 一般社団法人 中小企業家同友会 女性経営者クラブ・ファム 29
- 一般社団法人 埼玉ニュービジネス協議会 8



## 自由記述の全文

7. 起業に際して、民間、公共などの起業支援の制度や仕組みを利用しましたか。また、利用した場合、その機関と支援の内容を教えてください。

- ・していない
- ・利用した、開業全般／創業ベンチャー支援センター埼玉／埼玉よろず支援拠点／ふれあいキューブ春日部
- ・起業支援の制度知らず 利用しておりません。
- ・25年前は環境が整っていなかった
- ・監査役でもある顧問税理士に相談のみ
- ・当時、埼玉県内には「女性の企業講座」は見当たらず、神奈川県戸塚にある女性フォーラムの講座に半年通う。その後、県に女性起業家育成の仕組みを進言した。
- ・知り合いの中小企業診断士に経営等のノウハウ等々を支援して頂いた
- ・創業ベンチャー支援センター

事業計画、スケジュールなどの確認"

・女性起業支援（公共）を利用した。無料で中小企業診断書の方などからアドバイスをいただくことができた。その他民間の開業塾も利用したが、かなりお金がかかるのにあまり成果は得られず。講師と合わず嫌な思いもした。

・一人のサロン経営なので、開業資金は自分資金でのみでした。

・利用なし

・無し

・埼玉県 創業ベンチャー支援センター

・創業ベンチャー支援さいたま、スタートアップさいたま、よろず支援拠点

・埼玉県の創べ

・よろず支援拠点の相談

・いいえ

・深谷市創業セミナー

・県主催セミナー

・農林振興センター 雇用や運営について／よろず相談所 PR の仕方について

・利用しなかった

・制度がわからなかつたので、利用しなかつた。

・川口市主催の女性起業講座アフェクト

・埼玉創業ベンチャー支援センター／社会課題を解決する創業支援 助成金

・企業支援について何も知らないで、暗中模索でした。

・コロナのタイミングで給付金を申請、支援いただきました。

・利用していません。

・特になし

・(公財)埼玉県産業振興公社 創業・ベンチャー支援センター埼玉／埼玉県よろず支援拠点

・商工会？埼玉県？・創業支援補助金を利用しました。

- ・当時は、情報が少なく、利用できなかった。
- ・小規模事業者持続化補助金を利用しました。ホームページ制作やチラシ作成などの広報費に充て、開業初期の集客基盤づくりに活用しました。
- ・埼玉県事業承継・引継ぎ支援センター
- ・していません
- ・商工会経由で税理士をご紹介いただき、相談に乗っていただきました。
- ・していない
- ・商工会議所
- ・さいたま市起業セミナー
- ・利用無し
- ・利用していない。
- ・創業ベンチャー支援センター／サイタマスマイルウーマンピッチ
- ・しません。
- ・していません。
- ・利用しなかった
- ・産業ベンチャー支援 アクセラレーションプログラム女性のき
- ・商工会議所の起業セミナー・創業ベンチャー支援センターの個別相談
- ・利用していません
- ・創業ベンチャー支援事業／よろず相談
- ・川口市女性起業支援アフェクト
- ・商工会議所のサービス
- ・利用していない

## 8. 女性の起業家を増やすためには、どのような支援が必要だと考えますか？

- ・まわりのサポート態勢
- ・女性の意識改革、中小企業とは、小規模企業とは、の理解が深まるセミナー等を通して事業化を目的とした起業へ 意識を向ける必要があると感じています。(趣味ではなく)
- ・専門家の相談できる機関／補助金
- ・資金
- ・市町村一丸となっての取り組みや応援（保育園や資金調達、経営のノウハウ、広報の仕方）
- ・本人の強い意志と周囲の環境整備
- ・経営資源 人 物 金 の支援 中でも人脈づくりが重要だと思う
- ・近年、女性起業家は講座は様々な機関で開催され、起業した「社長」にはなれるチャンスは増えている。その後の「経営指針成文化」し「組織化」し、さらには常に「企業変革」しながら、「稼いで」「雇用して」「納税」できるような 経営者を育成する必要性を感じている。
- ・経営に関する知識等
- ・女性起業家交流会。家族支援、子供支援、広報支援
- ・公共の無料または安価で利用できるサービス。

- ・起業する方法、会社経営方法等、話を具体的に聞けるセミナーなどあれば、最初の一歩が出やすいと思います。又、経営してぶつかる諸問題に対する話なども聞ける人、場所が必要だと思います。
- ・起業した先輩が確実に継続し、伸びている成功事例（企業10年ほどの成長事例など）を多く公開すること
- ・家庭と仕事の両立のための支援、子育ての負担軽減
- ・経営知識の普及
- ・様々な起業の形があることを知ってもらう機会を作ること。
- ・ご主人の理解と協力
- ・資金援助
- ・個別の相談や勉強会
- ・子育て、介護支援の徹底
- ・子育て 介護か両立出来る環境か必要だと思います。私は、両方だった中での仕事ありきだったのでかなり大変でした。保育支援や家事の代行サービスなどの補助があると良かったです。また女性起業家と農家をつなげる商品開発や地域振興プロジェクトなどあると良いです。
- ・信頼できる法、税、不動産に詳しい相談相手
- ・会社員としての経験を増やす仕組み
- ・男性の長時間労働削減
- ・財務、経営に関する知識
- ・宣伝のアイディア
- ・私の場合ですが、とても財務が苦手なのであくまでも初動からサポートして頂ける環境を整えていただきたいです。
- ・女性起業家を対象にした低金利や無担保融資制度を設ける
- ・子育てと仕事を利用できるように、保育サービスに関する情報や利用支援を行なう
- ・仕事に性別は関係ないと思いますが、周囲の中には女性だから・・・と言うマイナスイメージを持つ方もいます。サイタマ・レディース、JC等々に入会して、積極的に学ぶことも一つだと思います。
- ・家庭をもって創業しようとすると、どうしても夫の理解は無くてはならないものです。女性が活躍できる世間の雰囲気の醸成は必要ですし、ジェンダー平等の項目は、世界的にも日本はかなり乗り遅れています。男性優位社会はヒシヒシと感じるところです。
- ・『会社を始める、最初の一歩』のような、ハードルを下げたセミナーを開催する
- ・女性起業家は、資金調達の難しさや、情報・人脈不足、家庭との両立など、特有の課題を抱えています。そのため、利用しやすい補助金・融資制度の拡充や、マーケティング・経営ノウハウを学べる実践的な講座、女性同士の ネットワークづくりの場が必要だと考えます。また、起業初期から伴走してくれるメンター制度や、育児・介護と両立できる柔軟な働き方の支援も有効だと思います。
- ・仕事+家庭+介護などの両立支援。まだ女性の進出についての理解、偏見、家庭との両立の難しさがあるので世間の固定概念にとらわれない考え方へのシフトが必要だと思います。
- ・男性の企業にも共通することですが、起業に関するお金の相談をしやすい場の提供、事業内容を広く紹介できる場の提供
- ・マーケティングを学ぶ場
- ・相談できる場所

- ・学生時代からのキャリア教育
- ・女性のロールモデルを育成、輩出すること。女性の経営者起業家に光が当たるような取り組みを行うべき。
- ・経営支援
- ・やはり、子育てと仕事の両立を支援していく必要があると思います。ワンオペ育児のなかで、事業を経営していくのはなかなか大変です。例えば、学童も朝は8時から預かっているところが多いですが、就労している人が、預けてからではほとんど業務時間に間に合わない時間に設定されているのは問題だと思います。
- ・女性にこだわりたく無い。
- ・非雇用者でないと育休手当や傷病手当、介護手当がもらえないで、20代から30代の起業はハードルが高いです。創業期は自分が動けなくなったら事業が止まってしまうので、妊娠・出産が後回しになってしまいます。県独自の起業者向け、出産子育て支援や、介護支援があると、出生数や起業数は増えると思います。起業すると、雇用されるよりは動きやすいので、むしろ起業するお母さん世代が増える気がします。保育園にも入りにくいし、会社に勤めてないと『悪』になりがちですが、むしろ起業と子育ては相性が良いです。"
- ・どんな企業のチャンスがあるのか？色々な事例を体験談を踏まえて知ってもらう機会を設ける。
- ・起業という選択肢が、就職という選択肢と並列して考えられるようになること。起業は特別なことと考える人も多いと思います。私自身も、経営者の先輩のすすめで、起業しましたが、それまでは起業は選ばれた人がすることと考えていて、選択肢にはありませんでした。
- ・信頼できる、スタートアップ支援制度の充実と宣伝
- ・女性の起業を「家庭の副収入」ではなく、「社会を変える挑戦」と認める文化
- ・創業のための補助金（各市で）・女性の創業相談窓口
- ・事業所・オフィスなど（安価で借りられる）場所の提供
- ・家族がいる場合、家族へ理解していただくための介入者
- ・なんでも相談しやすい仲間（専門家グループ）
- ・相談場所があること
- ・長時間労働の削減
- ・女性の企業勤務経験、管理職経験
- ・中小企業はとにかく本人のやる気、熱意！
- ・夢と現実の理解と継続
- ・メンターとなる外部の人がいると、相談しやすい。
- ・社長が所属する既存の団体は、夜の懇親会で振興を深めることが多いと思いますが、女性の場合、夜の時間帯は家庭に必要とされる人が多いともいますので、日中に気軽に相談できる人・機関があるといいと思います。
- ・社会におけるセクハラを始めとする女性へのハラスメント防止への意識づけへの支援。雇用されている人以上に、ハラスメントから守られていない状況を感じことがあるため。人権を大切にする社会の実現に繋がるので、行政機関の支援ももっとお願いしたい。

## 12. 取組による具体的な成果を教えてください。（例：従業員の残業が70%近く減った。）

- ・食品ロスへの意識変化とロス率の改善
- ・業務上のコミュニケーションにおいて支障なく情報共有ができている、コミュニケーションによるストレ

スが少ない、在宅ワークで事業が進められている

- ・資料の作成に時間が短縮できた
- ・人員不足のために今は試行錯誤中
- ・クラウドによって従来のサーバーへの文書保存が必要なくなった&文書を探す手間が省けている
- ・会計ソフトは従前より活用している為日々の店舗売上管理は 1 時間程度で済む。エアレジ導入により、タイムリーな売上を把握でき、店舗別管理の面で日々2 時間程度業務が圧縮されている
- ・業務の属性化から標準化・共有化が計れるようになりつつある。現場は「ゆったり」業務は「すっきり」を合言葉に推進している。
- ・広報、時間の効率化
- ・社内で従事する人数が激減、外出先から確認でき在社の必要がなくなった
- ・社内で歩く歩数が減った。社内で紙の使用量の減少。マニュアルが TEBIKI の採用につながった。各社員に必要性が理解してもらっている。次のステッププロポット導入に理解が進んでいる。
- ・事務員が一人退職したが、補充しなくても問題なかった。道交法改正で運転前後のアルコール検知が義務化されたがスムーズに対応できた。顧客情報をデータ化し、取引履歴を抽出するのが簡易になった
- ・ほぼ変わりなし
- ・人件費削減
- ・オンラインサービスを開始するための補助金制度を活用させていただき、HP を 3/4 の費用で作成できました。その HP から新規問い合わせがあり、受注に繋がりました
- ・生成 AI の活用により、資料作成や調べ物にかかる時間を削減できている。
- ・ほんのわずかですが残業が減った
- ・事務担当者の残業ゼロ
- ・出社せずに済むことが増えた
- ・SNS 発信で顧客やファンが増えた。メディアからの問い合わせがある
- ・顧客獲得、時間の効率化
- ・電子化により紙が減った。AI の活用により個人事業主で w チェックを任せているのでなんとか一人で出来ている
- ・原価計算が、誰でもできるようになった。
- ・仕事の効率化
- ・仕事の効率化は図られたが、仕事量の増加により、ノー残業には至っていない。
- ・成果の結果はまだ得られていません。
- ・クラウド上のチャットツールを導入したこと、報告のハードルが下がり、スムーズに行われるようになった。
- ・棚卸の時間が 80 % 削減された。ラインワークスを活用し、店舗間の情報共有が多くなった。ジョブカンを活用し、シフト管理を含む人事管理が楽になった
- ・従業員の作業効率の向上
- ・フルリモートの導入で小さなお子さんがいる女性にも柔軟な働き方で成果を出していただいている。
- ・文書作成の時間が削減された
- ・作業が楽になった

- ・会議をするきかいが増えたので、コミュニケーションがとれた
- ・全国にいるスタッフとの連携もスムーズになった。契約のスピードが速くなった。子育て中でも、介護中でも、いつでも仕事ができるようになった
- ・広報の宣伝文の作成や、引き受けている仕事を生成AIを使って行うことで、案件によっては工数が、70%減ります。
- ・数量化は、わかりません。
- ・記録を残しやすくなった
- ・作業スピードが上がった
- ・2017年法人化。当時から全てリモートワーク。クラウドも活用。
- ・あまり感じられない
- ・取引先顧客含め社員との打ち合わせがオンライン会議が主流になり、テレワークなどの働き方改革にもつながっている。また議事録作成など時間短縮になるツールが増えた
- ・取引先とのやり取りの書類が貯まらない
- ・請求書などを社員に任せられるようになった。
- ・営業が楽になった部分がある
- ・事務処理がはやくなつた
- ・クラウド化による情報の共有
- ・オンラインミーティングは、往復の移動がないために、隙間時間でも（カメラを通してtではあるが）、顔を合わせてのミーティングができ、顧客等との情報共有がよりしやすくなつた。

### 13. DXの取組において、課題やデメリットがあれば教えてください。

- ・人により吸収力の違いがあり、一律に進めるのが難しい
- ・なし
- ・専門知識が不足している
- ・業務全体に取り入れるには、コストがかかる
- ・自社でのソフト開発には多額な費用がかかる。スキル不足も否めない
- ・日進月歩、常に新しい情報が必要になる。
- ・コスト面
- ・クラウドが安定しないことがある。警察、官公庁などの書類はまだ縦割りに感じるので一本化して欲しい
- ・一人で経営しているサロンなので、かえって作業が多くなるだけの事もある。
- ・取り組みする従業員の個人差が出る。特に管理職（50代）の理解度が低いと感じる
- ・それが勝手な使い方をしてしまいデータ化の意味がない。新しい作業環境に馴染めない人への対応が難しい
- ・デメリット・・・DXに対応できない人を採用できなくなった。
- ・DXやIT関連の知識とスキル不足により、資料作成などの効率化が図れていないこと。
- ・私自身がしっかり理解できていない
- ・目的ごとにサービスの数が多く、どのサービスが事業に適しているか判断することが難しい。
- ・特になし

- ・アナログユーザーとの関係
- ・DXの進化が早い
- ・頼り過ぎてしまい情報が漏れないから心配
- ・慣れていないのでまだ時間がかかる
- ・私が御願いしたところはかなり高額でした。何も分からずスタートアップの初期段階で、営業のトークに乗ってしまった。
- ・ハードディスク破損により、費用が掛かってしまった。セキュリティも含めて、データの保管についての知識が必要だと感じた
- ・なかなかシステムになれない人がいるため、導入にも浸透にも時間がかかる。思ったように使えない
- ・生産管理ソフトを導入したが、使いこなせる人がいない。チャレンジしたいが、お金と使いこなせる人がいない。
- ・良いシステムがあっても人間がついていけないところがある。
- ・業種的（ID 関連です）に教育が必要だが、未経験者を教育する場合はリモートではなく物理的にそばにいた方が良いが、現在全員フルリモートの為、未経験者を雇うことが難しい。
- ・会社全体の知識の底上げ
- ・始める時にある程度時間やお金がかかる
- ・キントーンなどに切り替えたいが、費用負担があるので、時期を見計らっている。補助金が使えるのかは不明。
- ・金額の問題
- ・生成AIは大抵のことはできてしまうので、それを使い過ぎると、人間よりもAIを活用した方が良いのではないかと考えるようになってしまふこと。雇用にも響くし、人として大切なことを、ともすれば忘れがちにならうことだと思います。
- ・コスト
- ・理解をしないまま、使用をしているので何か問題が起きた時に大幅に時間がかかる。もしくは、やり直しすることになるが二十三十に重複してしまうこともある
- ・良く分からぬのに、高額な所に依頼してしまった。営業にのせられないような、知識や相談場所があつたらいいか
- ・月々の維持費
- ・コミュニケーション不足・デジタル化にスタッフ全員がついて来るように必死。
- ・使いこなせていないと思う
- ・相談場所
- ・社員全員にDXの取組が浸透していないので得手不得手があるのが今後の課題と思われる。
- ・過去の資料を探すのにかえって時間を要する時もある、
- ・まだまだペーパレス化が難しい。特に役所は未だに見積請求書を原本提出。
- ・いまだにわかりにくい
- ・やりたいことの理解と推進
- ・顧客のDX化支援について、社員の育成に時間がかかる。AI化に対する人材育成に課題がある。
- ・①クラウドについては、災害時にクラウドにアクセスできなくなると作業が停滞する。②オンラインミー

ティングは、対面でのミーティングを補完するものであり、重要事項の打合せ等には適していないことがある。③オンラインミーティングは、チャットを使っての私語や批判ができてしまう。

#### 19. 生成AIの具体的な活用方法を教えてください。(例: 売上データの分析、資料作成)

- ・日々の疑問についての回答
- ・文書作成、セミナー資料たたき台作成、セミナーシナリオ作成、各業種についての詳細業務フロー等
- ・資料作成
- ・資料作成
- ・資料作成程度
- ・テスト段階
- ・顧客への情報提供検索。
- ・プレゼン書類の作成。必要情報の検索。社内データーの見えるかなど
- ・営業戦略・採用部門・研修・資料作成。全社員が個人の秘書として活用している。
- ・資料の要約
- ・資料作成、調べ物、メールの返信案、セミナーの構成、文章の修正
- ・プレゼン資料の作成
- ・資料作成
- ・調べる際、活用
- ・資料作成
- ・メールの添削からプレゼン資料など多岐
- ・資料作成
- ・資料作成
- ・資料作成に利用している
- ・今後は収集したデータ分析に利用したい
- ・文章校正、資料作成
- ・多岐に渡る文章作成
- ・システムデータの分析、プログラムの自動生成、プログラムのブラッシュアップ、客先業務の理解、画像のOCR読み込み
- ・資料作成
- ・VBAのコード生成
- ・キャッチコピー等の文章の生成
- ・事業計画の相談や、プレゼン内容、ツールの取り扱い、言語翻訳まで多岐に渡る
- ・資料作成
- ・SNS発信
- ・事業の悩みを相談
- ・広報PR文の作成、各種受けた案件の第一次の処理。
- ・文章作成
- ・提出文章のまとめ

- ・資料作成・事業計画作成・調査比較
- ・企画書作成・イラスト・資料の相談
- ・資料の参考となる文脈
- ・議事録の作成や会議資料の作成
- ・情報分析
- ・情報収集・資料作成

## 20. DX や AI に関して、推進・活用するための課題や必要とする支援をお聞かせください。

- ・DX や AI にすべてをゆだねることはフェイクを含めてまだ怖いので使用する場面をよく話し合うことが必要です
- ・活用しようという意識を持つこと、それを促進するためのセミナー。使い方を教えるセミナーはあると思いますが、肝心なのは働く人の意識です。自分の時間が企業の付加価値向上に繋がる業務に充てられているか、そうでない場合は IT・AI の活用に意識を向けられているか、が大切だと思います。
- ・どこの機関を利用したら良いかわからない
- ・基本知識のセミナー開催
- ・自社に必要な方法を見つけること
- ・警察、官公庁などの一本化をお願いしたい
- ・いろんな AI があるが、どれを使うのが良いのかがわからない。よく使ってはいるが果たして使いこなせているかどうかわからない。
- ・自社の最善の利用方法のアドバイスを頂ける専門の方を紹介して頂けたら、始めるハードルが下がると思う。又、機材が必要になるので、その資金の補助等があればありがたいと思います。
- ・いろいろな参加できる場が増えると良い。企業への出張サービスなど
- ・安全・便利な使い方がよくわからない。「社内の当たり前」の中から、変革できる部門を洗い出すのが難しい
- ・課題・・・どのプログラムも最初安いが、年数経つほど金額が上がる。社員が使いこなすのにタイムラグがある。導入決定から実際の運用まで時間がかかる。
- ・実用的な初級講座などがあれば、受講したいです。
- ・勉強会をしていただきたいです
- ・やはり費用がかかるので、費用補助です。補助はサブスクタイプのサービスも対象としていただきたいです。また、例えば生成 AI だと、サービスごとの特徴やメリット、デメリットを教えていただける機会があると助かります。
- ・従業員全体の意識改革を前提にしないと、取り組みにバラつきがある。
- ・良い方向に進めるよう指針が必要。
- ・農業での取り組みにはやはりかなり資金が必要となりますが農業での補助金はなかなかないのが現実。あったとしても使いづらかったり。なのでもう少し使いやすい補助金があるとよい
- ・表向きから専門用語でくるので拒否反応が出てしまいます。わかりやすい文言でお願いしたいです。
- ・セキュリティ
- ・使い方を教えてくれる人が必要

- ・やはり初動のサポートを、お願いしたいです
- ・何から始めていいのかわからず、専門知識を持った人と相談してから進めたい。
- ・あくまでも資料として、そこに人間の言葉を載せて利用者さんにお伝えする
- ・デザイン系の性能の強化
- ・使いこなせる人材が必要。
- ・導入しても従業員が使いこなせるかが課題
- ・何をどう聞けば良いのか？どんな活用方法がるのかのレクチャーを一度受けると活用しやすいと思う。
- ・聞きたい時にすぐに質問できる人
- ・既存業務と統合の難しさ、データの整備不足
- ・ノーコードツールを継続に使うための補助制度
- ・私がそうだったように、A Iを使い始めると万能のように考えてしまいがちになると思いますが、昨日も社保関連の手続きについてA Iで確認したところ、要件の箇所で、できないものをできる！と断言して書いてありました。偶然知識のある知人がそばにいたので、間違いに気づくことができましたが、そういう事も合わせて知らせていくことも必要かもしれないと思いました。
- ・何しろ情報がほしい。ほしい情報はどこに相談すれば可能か
- ・進歩が速いので、ついていくのが大変。支援を待っていたのでは遅いと思っている。
- ・無料と有料の差を具体例で知りたい
- ・個別指導
- ・間違いも多い、今のところ日本の地方文化に弱い
- ・DXやAIに興味があっても、社員と共有していくのが難しい。
- ・A Iのセキュリティーがよくわからないので、どこまで情報を投げ込んで良いのかがわからず、具体的な業務に活用できていない。あたりさわりのない一般的なことでしか活用していない。